



2023年2月14日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
 代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
 窪田 良
 コード番号 4596 東証グロース
 問合せ先 管理部 広報・IR部
 (TEL : 03-6550-8928 (代表))

業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年11月11日に公表いたしました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期連結業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2022年12月期の連結業績予想数値と実績値の差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

	事業収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7	△2,000	△2,000	△2,000	△2,000	△43.61
実績 (B)	8	△2,038	△2,016	△2,016	△2,016	△40.92
増減額 (B-A)	1	△38	△16	△16	△16	2.69
増減率 (%)	14.3%	△1.9%	△0.8%	△0.8%	△0.8%	6.2%
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	-	△2,585	△2,616	△2,616	△2,616	△57.46

2. 業績予想と実績値の差異の理由

通期連結業績実績値の事業収益につきましては、ウェアラブル近視デバイス(Kubota Glass)のソフトローンチとしての販売が当第3四半期連結会計期間に開始され、続く第4四半期連結会計期間においても販売が継続されましたが、前回想定した販売需要をわずかに上回り、前回予想を上回ることとなりました。また通期連結業績実績値の営業利益及びその他の利益項目につきましては、概ね前回予想通りに推移したものの、Kubota Glassの製造販売費用及び販管費が為替レート変動等の影響を受けたことにより前回予想を下回ることとなりました。

以上



窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社 100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）などの医療機器開発に注力しております。

（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。